

第 61 回インテリア設計士資格検定

<1 級学科試験・論文課題>

コロナ下において住宅に求めるものが変化するなど、住環境に関する要求条件は時に応じて変化することが可視化した。一方で地球温暖化への警戒が全世界的に強まっている。これらを鑑み、コロナ下での住環境の変化に対応でき、加えて地球環境に配慮したインテリア計画とするにあたり、求められることを以下の項目ごとに整理して具体的に述べなさい。

1) 計画のポイント 2) 材料や施工 3) 設備計画

1. 試験時間：1 時間 30 分（午前 10 時～11 時 30 分）
2. 記入用紙：配布された指定の論文用紙に記入する。文字数は 800 字以上 1000 字未満とする。
3. 注意事項
 - (1) 論文用紙に、受験票に記載の協会名(都道府県名のみ)と受験番号を必ず記入してください。
 - (2) 試験監督員の「開始」の合図に従って書き始めてください。
 - (3) 質問があるときは、黙って手をあげてください。ただし、内容に関する質問にはお答えできません。
 - (4) 試験終了時間前に解答ができあがった場合は、試験監督員の指示に従ってください。
 - (5) 「終了」の合図と同時に終了し、論文用紙を監督員の指示に従って提出し、速やかに退室してください。
 - (6) 参考資料、原稿、コピー等の持ち込みはできません。
 - (7) 課題用紙(この用紙)は解答用紙と一緒に回収いたします。
 - (8) 手洗いに立ちたいときは黙って手をあげ試験監督員の指示に従ってください。ただし、原則として学科試験中のトイレ休憩は認められません。
 - (9) 携帯電話の電源は、必ず切っておいてください。

第61回インテリア設計士資格検定試験

<1 級 論 文 用 紙>

<課題>

コロナ下において住宅に求めるものが変化するなど、住環境に関する要求条件は時に応じて変化することが可視化した。一方で地球温暖化への警戒が全世界的に強まっている。これらを鑑み、コロナ下での住環境の変化に対応でき、加えて地球環境に配慮したインテリア計画とするにあたり、求められることを以下の項目ごとに整理して具体的に述べなさい。

- 1) 計画のポイント 2) 材料や施工 3) 設備計画

(文字数は800字以上1,000字以内とする)

1/3

新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症 の 拡 大 に よ り 、
 私 達 を 取 り 巻 く 環 境 は 大 き く 変 化 し て い る 。
 お う ち 時 間 と い う 言 葉 が 生 ま れ る ほ ど 、 家 で
 の 過 ご し 方 は 変 わ り 、 w i t h / A f t e r
 コ ロ ナ を 前 提 と し た 生 活 が 今 後 も 求 め ら れ る 。
 一 方 で サ ス テ ィ ナ ブ ル な 社 会 を 実 現 す る た め 、
 地 球 環 境 に 優 し く 住 み 手 に と っ て 快 適 な 家 づ
 く り を す る こ と も 、 今 後 求 め ら れ る 。 以 上 を
 ふ ま え た 今 後 の 社 会 に 求 め ら れ る イ ン テ リ ア
 計 画 に つ い て 3 点 に ま と め て 述 べ て い く 。

100

200

① 計 画 の ポ イ ン ト : 在 宅 ワ ー ク や オ ン ラ イ
 ン 授 業 な ど を 家 で 行 う こ と が 多 く な り 、 外 部
 と の コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン が 発 生 す る オ ン ラ イ
 ン 会 議 や 授 業 に 集 中 す る た め の 場 と し て 個 室

の需要が高まっている。リビングのような広い空間にワークスペースを設け、必要に応じて稼働間仕切で個室化できるフレキシブルな空間計画とすることが重要だ。外出しづらいため、家で快適に過ごせるよう屋外にテラスを設けたり、風通しのよい計画とする他、自然光を取り入れやすいカーテンや自然環境に調和したインテリアとし、地球環境に配慮した快適で健康的な住まいづくりを計画することが重要となる。

②材料や施工：インテリアを選ぶ上で素材の性質は注意しておかなければならない。自然のプロセスで分解する生分解性素材、植物や動物を元にしたバイオベース素材、再生利用可能素材などエコ素材を使用することが重要だ。大量生産の使い捨てではなく、資源を大切に末永く使用できるものを選び、国内の森林資源を活用した間伐材の家具や内装材、

廃材を利用したタイルやカーペットなど環境
 配慮型製品を使用することも重要だ。施工時
 は包装材や足場などを再利用し、材料を発注
 しすぎず廃棄物を削減することを念頭におい
 て施工計画時から考えておくことが重要だ。

700

③ 設備計画：家にいる時間が多くなりエネ
 ルギー消費量が増加傾向にある昨今、設備計
 画にも配慮が必要だ。ZEHのように創エネ
 省エネ、高断熱によりエネルギーを自給自足
 でき快適な住まいづくりを計画することがス
 タンダードとなりつつある。高効率のLED
 や天井放射冷暖房、地中熱利用、太陽光発電
 など様々な省エネ技術を導入し、施工時だけ
 でなく運用時もエネルギー消費を抑え、CO
 2を排出せず、再生可能エネルギーを生み出
 せるよう計画時から設備面にも配慮しておく
 ことが重要となる。

800

900

1000

第61回インテリア設計士資格検定試験

<1級論文用紙>

<課題>

コロナ下において住宅に求めるものが変化するなど、住環境に関する要求条件は時に応じて変化することが可視化した。一方で地球温暖化への警戒が全世界的に強まっている。これらを鑑み、コロナ下での住環境の変化に対応でき、加えて地球環境に配慮したインテリア計画とするにあたり、求められることを以下の項目ごとに整理して具体的に述べなさい。

- 1) 計画のポイント 2) 材料や施工 3) 設備計画

(文字数は800字以上1,000字以内とする)

1/3

住環境を考える際の計画ポイントとして大切なことは、生活の変化に合わせて常に変更が可能な間取りを前もって考慮しておくことである。例えばコロナ下、急に在宅ワークを余儀なくされた折にも、一室を仕事場として利用可能な共有スペースにしWIFI環境を整えておく。また壁ではなく家具で間切り空間を変えて利用できる工夫は有効といえる。それはコロナに限らず、家族の成長に対応する住まいも同様である。子供が幼い時期、個室が要求される時期、子供が独立後夫婦のみの生活になった時など成長や環境と共に簡易に変えられる計画をしておくことで、長く利用できる建物となる。それは世代や住人が変

100

200

わった際にも広く可能性が増えることになり、³⁰⁰

持続可能な住宅に繋がる。改修して再生価値を上げるリノベーションや、用途変更して再生価値を上げるコンバージョン等を空き家にも採用すれば資源の有効利用にもなる。

材料や施工に関しては、再利用できるもの⁴⁰⁰

や再生可能な天然素材、商品を選択し提案していく。3Rのリサイクル素材で再利用できるもの、ロスの少ない素材を選択し使用する。

また使える素材はリユースして廃棄を減らす工夫も大切である。アップサイクルという考⁵⁰⁰

え方を取り入れ、捨てる素材も手法を変えて利用し、インテリアの一部に取り入れる試みを住まい計画にすれば个性的かつ環境資源の有効活用にもなる。長く使用する例として壁

紙を上げると、貼り換え毎に廃棄されるビニ⁶⁰⁰

ールクロスを新聞紙や木くずを資源とするオガファーザーや、上塗りが可能な紙クロスや

不織布素材の壁紙とする。これらの素材を選択し長期間同素材を使用しながらも色や上塗り材を漆喰などに換えれば、空間としての変化も楽しめ、調湿効果もあるため、住人にも建物にも負荷軽減され、長く健康的に住まうことができる。

700

設備計画はZEHが代表として上げられるように、外壁や窓の断熱性能を高め、効率の良い建物にした上、天然エネルギーを利用して省エネで外からのエネルギー供給をゼロにする。地球温暖化の原因となる二酸化炭素排出量の50%が家庭から排出されているといわれる中、各戸の設備を整えていくことで地球環境にも配慮することになる。新築の際にZEHもするのみでなく、既存の建物でも樹脂の内窓を追加したり、遮熱断熱の窓に取り換えるなどを積極的に進めることはインテリアを通し、地球環境を守る取り組みとなる。

800

900

1000